作成日 2011 年 5 月 23 日(第 1 版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　シンジェンタ ビルダーフェルテラチェス粒剤
(クロラントラニリプロール・ピメトロジン・プロベナゾール粒剤)

会社名　シンジェンタ ジャパン株式会社

住所　〒104－6021
東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号オフィスタワーX 21 階

担当部門　HSEグループ

電話番号　03－6221－1047

FAX番号　03－6221－1050

緊急連絡先　同上

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性／刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分 1(呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1(呼吸器系、腎臓)
環境に対する有害性:	水生環境有害性(急性)	区分 1
	水生環境有害性(慢性)	区分 1

＊ 記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

注意喚起語: 危険

危険有害性情報:
発がんのおそれ
呼吸器系の障害
長期または反復ばく露による呼吸器系、腎臓の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に強い毒性

注意書き: 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
取扱い時には飲食、喫煙をしないこと。
必要な時以外は、環境への放出を避けること。
指定された個人用保護具を使用すること。
【救急処置】
ばく露した場合、医師に連絡すること。
ばく露またはその懸念がある場合、医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
漏出物を回収すること。
【保管】
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

国／地域情報　－

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

化学名

クロラントラニリプロール　3-ブロモ-N-[4-クロロ-2-メチル-6-(メチルカルバモイル)フェニル]-1-(3-クロロピリジン-2-イル)-1H-ピラゾール-5-カルボキサミド

ピメトロジン　(E)-4,5-ジヒドロ-6-メチル-4-(3-ピリジルメチレンアミノ)-1,2,4-トリアジン-3(2H)-オン

プロベナゾール　3-アリルオキシ-1,2-ベンゾイソチアゾール-1,1-ジオキシド

成分	含有量(%)	化学式	官報公示整理番号	CAS番号
クロラントラニリプロール	0.75	$C_{18}H_{14}BrCl_2N_5O_2$	8-(1)-3379	500008-45-7
ピメトロジン	3.0	$C_{10}H_{11}N_5O$	8-(3)-912	123312-89-0
プロベナゾール	10.0	$C_{10}H_9NO_3S$	(5)-3433	27605-76-1
鉱物質微粉等 (非晶質シリカ) (石英)	86.25 (11.0) (64.0)	－	－ (1)-548 (1)-548	－ 112926-00-8 14808-60-7

4. 応急措置

吸入した場合:　被災者を空気の新鮮な場所に移し、安静にし、保温する。
必要な場合は医師の診断・手当てを受ける。

皮膚に付着した場合:　速やかに多量の水と石鹸で洗い流す。
必要な場合は医師の診断・手当てを受ける。

眼に入った場合:	直ちに清浄な水で眼を洗浄し、医師の診断・手当てを受ける。
飲み込んだ場合:	直ちに医師の診断・手当てを受ける。 口をすすぐ。 可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災によって有害ガスが発生するおそれがある。
特定の消火方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉塵、ミスト、ガス等による眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
除去方法	飛散したものを掃き集めて、密封できる廃棄物用容器に回収する。
二次災害の防止策	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
注意事項	容器を転倒、落下させ、衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。 全体換気の設備がある場所で取扱う。
安全取扱い注意事項	取扱う前には必ずラベルを良く読む。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。 取扱い中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受ける。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 適切な保護具を着用して眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

	取扱い後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換する。
	取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯する。
保管	
技術的対策	特に技術的対策は必要としない。
混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管条件	直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。
	小児の手の届かない所に保管する。
	食品や飼料と区別して保管する。
容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

	日本産衛学会(2009 年)	吸入性結晶質シリカ　0.03 mg/m^3
	ACGIH(2010 年)	TWA　0.025 mg/m^3 (石英)
	シンジェンタ社	TWA　0.8 mg/m^3 (ピメトロジン)
設備対策		取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
		取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	呼吸器の保護具	防塵マスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣、長靴、保護クリーム
衛生対策		取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換する。
		取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

形状	細粒
色	類白色
pH	5.9 (×5)
見掛け比重	1.00

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	情報なし

避けるべき条件	加熱や燃焼により分解し、有害ガスが発生するおそれがある。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性	経口　LD_{50}　ラット雌		>2,000 mg/kg
	経皮　LD_{50}　ラット雌雄		>2,000 mg/kg
皮膚刺激性	ウサギ		刺激性なし
眼刺激性	ウサギ		極軽度の刺激性
皮膚感作性	モルモット		陰性
発がん性	区分 1A の石英を 64%含有するので区分 1A とした。		
特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分 1(呼吸器系)の石英を 64%含有するので区分 1(呼吸器系)とした。		
特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1(呼吸器系、腎臓)の石英を 64%含有するので区分 1(呼吸器系、腎臓)とした。		

12. 環境影響情報

生体毒性	コイ	LC_{50}(96hr)	240 mg/L
	オオミジンコ	EC_{50}(48hr)	0.0080 mg/L
	藻類	ErC_{50}(72hr)	>1,000 mg/L

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄にあたっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従う。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	クラス 9
国連番号	3077
品名	環境有害性物質(固体)、N.O.S. (クロラントラニリプロール)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
国内規制	該当しない
輸送時の安全対策	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番	171

号

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号　第 22907 号
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)　シリカ　政令番号:312

16. その他の情報

記載内容の取扱い

製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者に提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。
この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の実状に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いします。

問合せ先

担当部門	電話番号
HSEグループ	03-6221-1047
サプライチェーン	03-6221-3805

中毒の緊急問合せ先　財団法人　日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
大阪 (365 日、24 時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365 日、9-21 時)	029-852-9999	029-851-9999